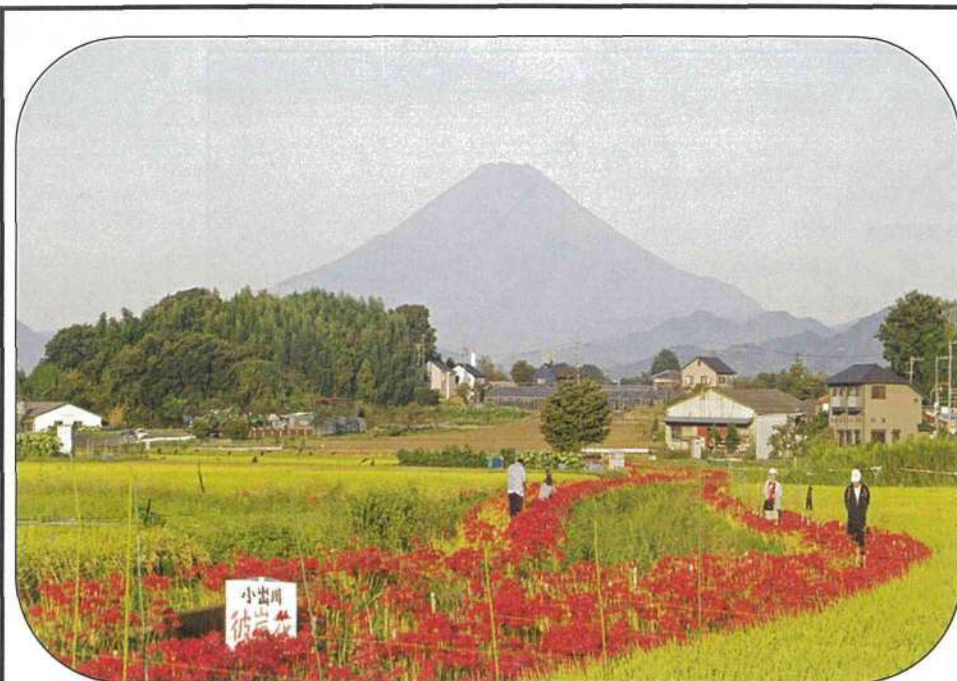




人と自然がいきづくまち

“The 遠藤” ～ふるさと観光マップ

遠藤探訪！～



人と自然がいきづくまち “The 遠藤” ～ふるさと観光マップ 遠藤探訪！～

平成26年2月 第1刷発行

発行：遠藤郷土づくり推進会議（遠藤まちづくり推進協議会）

〒252-0816 藤沢市遠藤2984番地の3 TEL0466-87-3009

FAX0466-87-3008

遠藤地区の主な年間行事

4月 April

お釈迦様お祭り花祭り（宝泉寺） 遠藤竹炭祭（中旬）
集まれ元気っ子（第4土曜日）

6月 June

ちびパラまつり（第1土曜日） 遠藤あじさいまつり（第3日曜日）
秋葉台中学校体育祭

7月 July

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス七夕祭（第1土曜日）
よし介工芸館ゆうがお夏まつり（第2土曜日）
御嶽大神夏祭り（第3日曜日） 大施食会（施餓鬼）法要（宝泉寺20日）

8月 August

えんどう夏祭り（第1金曜日・土曜日） 閻魔大王供養（宝泉寺16日）
ささら踊り 盆踊り大会 お盆迎え火 少年キャンプ

9月 September

遠藤地区敬老会（上旬） 御嶽大神秋祭り（第3日曜日）
小出川彼岸花祭 秋葉台幼稚園大運動会 紅葉祭（秋中文化祭）

10月 October

遠藤地区レクリエーション大会（第1日曜日） 遠藤地区文化祭（下旬）
遠藤保育園運動会 秋葉台小学校運動会

11月 November

ふれあい農園まつり（第1土曜日） 地域ふれあいのつどい
慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス秋祭（第3土・日曜日）
全市一斉一日清掃デー（第3日曜日） 遠藤地区総合防災訓練（下旬）
子育て供養（宝泉寺24日）

12月 December

遠藤朝市（第3土曜日） 除夜の鐘（御嶽神社）

1月 January

遠藤地区賀詞交換会（上旬） かるた大会（第4土曜日）

2月 February

寝釈迦さま（宝泉寺14日） 滝の沢不動明王お祭（28日）

3月 March

春のウォーキング（上旬） 花まつり（第2土曜日）
日吉神社例祭（中旬）

《遠藤地区は・・・》

遠藤地区は、藤沢市の西北部に位置し、面積は4.96km²、農地をはじめ空地が多く、都市部に比べのどかな雰囲気のある地区で、自然や田園が地区の財産と言えます。地区の西部には、藤沢三大谷戸の一つである遠藤笹窪谷（谷戸）があり、植林地、湿地には多様な生物が生息している一方、竹林では竹炭祭が開催されタケノコなど農産物が販売されるなど、にぎわいを見せています。小出川では、市民団体がボランティアで管理するあじさいや彼岸花など、四季おりおりの自然が残されています。あじさいや彼岸花の時期には祭りが開催され、市内外から大勢の観光客が集まり、散策を楽しむ一方、地域内の畑地で栽培された野菜などを販売する直売所で、買い物を楽しむ方も多く、北部地域の新しい観光地として注目を集めているところです。

一方では、秋葉台公園の文化体育館は藤沢市北部方面のスポーツ拠点として、運動施設・複合プールなどの利用で多くの方々が訪れています。



遠藤三大祭り

竹炭祭

『竹炭祭』は、環境整備を進める「遠藤竹炭の会」の活動を通じ、地域の交流と地場産業の活性化及び県内外から訪れる人々とのコミュニケーションを深めることを目的に開催。当日は、幻想的な竹藪の中で出店や催し物が繰り広げられます。爽やかな風と柔らかな陽射しの下で、春の薫りと味覚をゆったりと味わってみませんか！



日時 4月中旬
9：30～14：30
場所 遠藤健康の森



あじさいまつり



「あじさいの会」では、不法投棄を防止し“きれいな小出川、きれいな遠藤にしましょう”の目的から、毎年、あじさいを通じてボランティア活動を行っています。当日は、あじさいが色とりどりに咲き乱れる中、地元野菜等の販売や踊りなど盛りだくさん・・・梅雨空の下、花とせせらぎのひとときをお楽しみください！

日時 6月第3日曜日
9：30～15：00
場所 花とせせらぎの道
（えびす橋～大黒橋（小出川））



彼岸花まつり

「彼岸花の会」では、小出川河川敷（大黒橋～矢崎堰迄の区間）に彼岸花等を植栽し流域の環境美化と地域住民の交流を目的に活動を行っています。田んぼのあぜ道に彩りを添える中、秋を感じに全長約3キロの彼岸花ロードを歩いてみませんか？まつり当日は、模擬店、写真展示会等多数出展されます。（鑑賞期間：9月下旬～10月上旬）



日時 9月お彼岸の頃（まつり）
場所 小出川
（大黒橋～追出橋）



《お願い》

三大祭り開催期間中は、臨時駐車場がありますが、台数に制限がありますので、なるべくバス等公共交通機関をご利用ください。

遠藤地区の名所・史跡

〔1〕日吉神社 (ヒヨジジンジャ)

明治の中頃、社殿の中には、山王さま、弁天さま、お稲荷さま、といて弁天様の小さい祠があったようです。現在は山王さまと稲荷さまが祀られています。このお稲荷さまは「ほうき稲荷」といわれています。



〔2〕遠藤武者盛遠供養碑 (エンドウムシキリキョウヒ)

むかし北原の畑の中に小高い塚があり(高さ90cm 周囲約11m)、その上に五輪塔がたてられていたといわれています。言い伝えによれば、旧領主であった遠藤武者盛遠の招魂墓であったということです。現在の碑は明治12年に内田一次氏により再建され、庭のほこらに納められています。



〔3〕大瀬戸稲荷 (オホセトイナリ)

この稲荷は昔は立派な森もあり社殿も大きかったそうですが、今は小さな石の祠にまつられています。ここは大庭景親が戦に出る時に参詣したという伝承が残されており、大庭城の鬼門にあたります。



〔4〕瀧之澤不道明王 (タキノワダウミョウ)

矢尻講中の氏神として1705年2月、寺山文右衛門が祀ったと伝えられています。火焔後背型の素朴な石像ですが、御気性の激しい立ち不動尊です。ワフクン造成以前は昼なお暗き森林に矢向台地から絞れる地下水が一筋の滝となって落ちていました。これが滝の沢地名の起りです。



〔5〕養蚕神社・窪島義翁顕徳碑 (ヨシキリジンジャ・カサマツタカノリイサヒ)

明治・大正の頃は養蚕が盛んに行われ、大正時代に養蚕組合の人達によって建てられました。養蚕は昭和13～14年頃まで続きましたが、戦時中自然となくなり、戦後再び復活することはありませんでした。



〔6〕水神様 (スイジンサマ)

御嶽大神の大門の前を久保に向って進むと左手の畑の奥に水神様を祀る碑があります。この碑は大正時代に建立されたものです。この碑の前には井戸があり、他所の井戸の水が濁れても、いつも水量は豊かで、この水神様の井戸替えをすると7日以内に必ず雨が降るといわれています。



〔7〕芭蕉天神 (ハショウテンジン)

祭神は岡崎に本社がある芭蕉天神で、学問の神様といわれ入学試験時には多くの人がお詣りにきます。以前はお祭りの余興に神楽や芝居を催し賑やかでした。



〔8〕郷学琢成学舎跡 (キョウガクタクセイガクシャト)

江戸末期、寺と神社の割り当てであった遠藤智英氏により大駿寺(廃寺)に寺子屋「琢成学舎」が開かれたといわれています。明治5年に学制頒布。一時南原桜井勝衛門邸内に移った後大駿寺跡の新校舎に開校。明治8年遠藤学校と改称しました。



〔9〕御嶽大神 (御嶽神社) (ミタケオカミ)

遠藤の鎮守様、昔の神社の名前は御嶽大権現と言われていました。創建は1600年頃とありますが定かではなく、長い石段の下に琢成学舎の跡地があります。境内には石造物、記念碑、梵鐘などが多数あります。



〔10〕寶泉寺 (ホウセンジ)

玉雄山と号し、石川県能登の曹洞宗本山総持寺(現鶴見の総持寺)直末曹洞宗の中本山です。開山は小田原北条氏の仙波土佐の守、創立は1504～21年頃と言われている。別名、萩の寺とも言われていました。



〔11〕稲荷社 (イナリヤ)

(神明谷戸)氏子は神明谷戸町内。以前は旧道沿いに山の神の祠といっしょに稲荷の社があったようです。(笹久保)以前は現在地より笹久保谷戸に向って下る道の途中にありました。関東大震災後、現在地へ。



〔12〕馬頭観音 (ハトウカンオン)

石碑は屋敷墓の入口や畑の脇などに立っています。もと四ツ足をこの場所に葬ったといわれています。明治期に二、三基、大正期に四基、昭和初期から終戦までに五基の造立が遠藤で確認されています。



〔13〕玄光院跡 (ゲンコウインアト)

秋葉神社がまだあった頃、玄光院といて宝泉寺の下寺がありました。宝泉寺の隠居寺と言われていました。現在、桜井工務店の裏山に玄光院の土地が残っていて古い墓石が数基あるのみです。



〔14〕五霊大神 (ゴリョウタイジン)

五霊坂をあがっていくと道の右側の台地上に五霊大神が祀っており、氏子の人々は「ごりょうさん」とよんでいます。赤ちゃんの初宮詣りには、ここをお詣りしてから御嶽神社に参詣するそうです。



〔15〕妙見神社 (ミョウケンジンジャ)

(諸之木)小出川の東ぞいの旧道を東に、竹林の中の細い道を過ぎ石段を登ると鳥居の奥に社があります。諸の木の守護神です。(打越)宮元とよばれる古谷家で祀っていたのを、後に町内で祀るようになりました。現在の社殿は昭和11年に再建したものです。



〔16〕道祖神 (ドウゾジン)

昔のむら境に見られます。病気がむらに入ってこないようにと、むらの人々の気持ちが込められて造られました。今でも、1月14日には、火をたいているところもあります。



〔17〕勘兵衛地獄 (カンペイジゴク)

地獄をのぞきこむと吸い込まれそうな感じがする、と子供達はその脇道を通ることを嫌がりました。直径8m深さ3m程のすりばち状で、雨が降ると水が溜まるうえ、湧き水もあり、陰気な淋しいところでした。今は埋められ畑に変わり、道路も改良されバスが走り、昔の面影はありません。昔からずっと勘兵衛さんの持地であるところから、こう呼ばれるようになったと思われます。

②秋葉台公園(文化体育館)

秋葉台公園(文化体育館)は、本市北部地域の屋内・屋外スポーツ拠点としての役割を担っており、さらには、自然と親しむ市民の憩いと潤いの場として、また広域避難場所、災害時の避難場所等としての機能を有しています。

〔18〕悦堂堀 (エツドウホリ)

湿地帯に堀をつくり排水をよくしたら付近の畑地は乾き、収穫量が増すであろうと、宝泉寺7代目悦堂存恰和尚が百姓救済の目的で掘ったと言ひ伝えられています。

〔19〕大黒橋 (オホクロハシ)

「皇国地誌」には「駒込橋」として「西の方字駒込にあり小出川に架けし本郡打屋村へ通す長式間六尺石製にして修繕民費を以てす」とありました。昔の大黒橋は江戸末期に付橋と共に窪島家が寄附された石の橋でした。両側のわだちの部分に石でその間は丸太(丸太橋)でできていたそうです。現在の橋は三度目につくられたそうです。

〔20〕十番山 (ジュウバンヤマ)

このあたりに宝泉寺は一筆二町八反程の山林を所有していましたが、能登の総持寺の輪番住職を務める寺格の寺であり、能登におもむく時には、この山林の水を売却して経費に充てていたのころ呼ばれたとわれています。宝泉寺には6名の住職が輪番住職を務めたといわれています。明治6年にこの制度は廃止となりました。

〔21〕合祀社 (ゴウシヤ)

第六天社・琵琶島の稲荷・琵琶島弁天の三社が合併し合祀され、「よせみやさん」と呼ばれています。特に琵琶島というのは、琵琶に似た小高い地形であるところからこの名が付いたと思われる、小出川の水源になっていると、相模風土記に記載されています。

主な公共施設等

①遠藤市民センター

市民センターでは、住民票の交付や各種届出の受付などの行政事務窓口をはじめ、地域住民団体の育成援助、福祉手続きなど、地域まちづくりの市民相互の交流の場として、また公民館や市民図書室を併設した地域活動の中心施設として各種の行政サービスを行っています。

③慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス

総合政策・環境情報・看護医療の3学部と政策・IT・健康マネジメントの2研究科からなります。敷地は約10万坪で、建物は中心部に集中し、周囲は自然をそのまま活かしたセミナー・ゾーンとして整備されており、人と自然が調和する未来型キャンパスです。

遠藤の民俗芸能

ささら盆踊り唄

遠藤盆踊りのときにうたう唄で、その内容も農耕民族特有の素朴さがにじみ出るものです。市の最初の無形文化財に指定(県の無形文化財にも指定)

焼き米揚き唄

端午の節句の頃、苗代に蒔いた種籾の残りを蒸して煎り、臼に入れて3人で搗くときにうたう唄です。

麦打ち唄

暑い日差しの中、穂首を庭いっばいに広げて麦打ちをしながら唄っていました。やがて電力による脱穀機が出てくるにつれてしまいましたが、昭和49年頃から芸能として復活しました。

白挽唄

石の臼を2人位で廻し、米などを挽きながら唄ったもので、雨の日や夜なべの仕事として行われてきました。

遠藤あじさい音頭

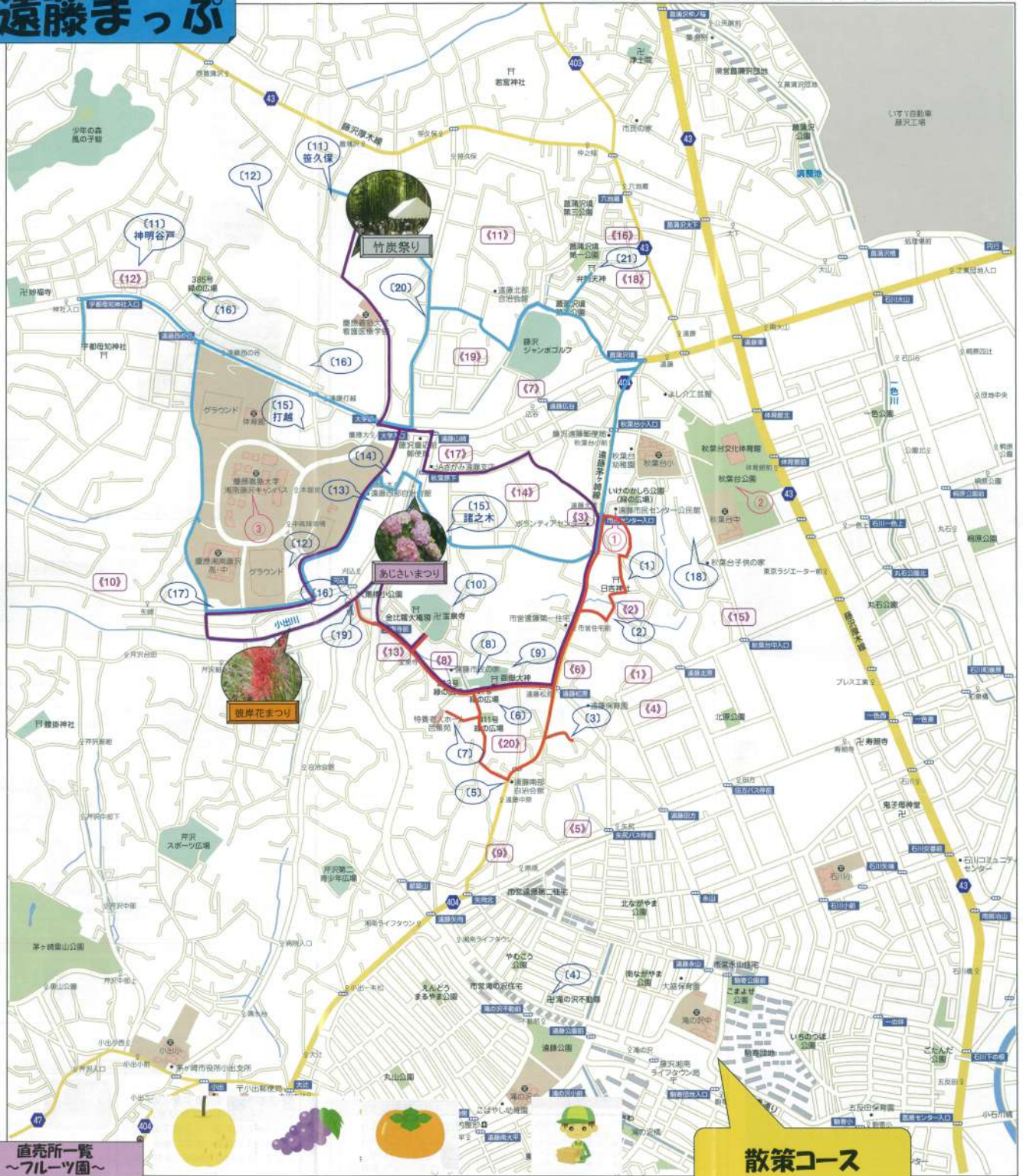
遠藤の新しい民謡として遠藤あじさい音頭が平成12年にできました。文化祭・遠藤あじさい祭り等で唄われています。

遠藤地区略年表

室町時代	宝泉寺が如幻宗悟禅師によって開かれる
天正19年(1591)	村高のうち21石が宝泉寺に寄付される
延宝1年(1673)	地頭中村正盛が遠藤村の開発を積極的に進める
享保10年(1725)	村高576石、藤沢宿の助郷村として重い人馬役を負わされる
文政10年(1827)	村高724石、民戸160戸、人口900人前後当時は、杉浦房次郎、堀甲斐守、本多常刀の旗本3人が地頭として支配
6年(1873)	行政改革とともに区制が実施され、遠藤村は亀井野、石川、西俣野村と第18大区第10区になる。学制の発布にともなって郷学琢成学舎が遠藤学校と改称する。後の秋葉台小学校である
11年(1878)	区制廃止による遠藤村は高座郡役所の管下に入る。当時の世帯167戸、人口1,057人
22年(1889)	町村制の施行にもとづき遠藤村は堤、行谷、下寺尾、芹沢村と合して小出村をつくり、初代村長に富田七郎右衛門が就任
11年(1922)	電線が敷設され、遠藤に電燈の灯がともる
12年(1923)	関東大震災、遠藤全戸数228のうち全潰173、半潰43、死者4、負傷31、その他道路、田畑の陥落壊甚大の被害を受ける
4年(1929)	小出村々営バス茅ヶ崎～小出村二本松間運行開始
27年(1952)	神奈中バス茅ヶ崎～小出村遠藤間運行開始
29年(1954)	藤沢～小出村二本松間バス運行開始
30年(1955)	小出村遠藤、藤沢市へ編入。市役所遠藤支所開設。秋葉台小学校、藤沢市立となる
32年(1957)	藤沢・茅ヶ崎両市教育組合立小出中学校増築完成
37年(1962)	遠藤に有線放送設置
41年(1966)	ささら盆おどり、市無形文化財第1号に指定される
42年(1967)	西部開発区域内、遠藤貝塚発掘開始
43年(1968)	遠藤地区に県営水道設置される。遠藤支所を遠藤行政センターに改称
47年(1972)	遠藤行政センター、遠藤2984番地に移転する
48年(1973)	遠藤行政センターを遠藤市民センターに改称する
49年(1974)	第1回遠藤地区文化祭事業開催
51年(1976)	藤沢市・茅ヶ崎市教育組合立小出中学校開校。秋葉台中学校開校。遠藤市民センターに公民館が併設される
52年(1977)	遠藤地区自治会連合会設置
56年(1981)	遠藤地区第1回市民集会開催
57年(1982)	遠藤市民図書室開館
59年(1984)	秋葉台文化体育館オープン
60年(1985)	遠藤市民の家開所
2年(1990)	慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス開校
6年(1994)	石川小学校開校、秋葉台子供の家開所
11年(1999)	相模鉄道いずみ野線・横浜市営地下鉄湘南台駅乗り入れ開始
13年(2001)	遠藤市民センターに地区福祉窓口開設
16年(2004)	遠藤市民センター・公民館、新事務棟オープン
17年(2005)	湘南台駅～慶應大学間に国内初のノンステップ連節バス運行開始

遠藤まっぷ

*地図中、[] は名所・史跡、○は公共施設等、《 》は直売所、を表示しています。



直売所一覧 ～フルーツ園～

散策コース

No.	氏名・園名	所在地	電話	梨	ブドウ	柿	もぎとり	直売	宅配
(1)	亀井 隆幸	遠藤2648	87-5704	○	○	○	○	●	●
(2)	内田果樹園	遠藤2665	87-1187	○	○	○	○	●	●
(3)	いさわ果樹園	遠藤2712	87-0160	○	○	○	○	●	●
(4)	成勢 金作	遠藤2641	87-1706	○	○	○	○	●	●
(5)	宮崎 博	遠藤2530	87-4905	○	○	○	○	●	●
(6)	宮崎昌二園	遠藤2533	87-5750	○	○	○	○	●	●
(7)	湘南果樹園	遠藤2535	87-5508	○	○	○	○	●	●
(8)	入沢 明美	遠藤2567	87-1202	○	○	○	○	●	●
(9)	宮治 一夫	遠藤317	87-5734	○	○	○	○	●	●
(10)	いらいき果樹園	遠藤5507	48-4636	○	○	○	○	●	●
(11)	丹波果樹園	遠藤6190	48-6660	○	○	○	○	●	●
(12)	長田 達	遠藤5008	48-5091	○	○	○	○	●	●
(13)	田代 公一	遠藤162	87-1801	○	○	○	○	●	●
(14)	重田 光雄	遠藤2769-1	88-3547	○	○	○	○	●	●
(15)	亀井果樹園	遠藤2643	87-1246	○	○	○	○	●	●
(16)	紺さんのブルーベリー畑	遠藤3600-9	48-5373	○	○	○	○	●	●

その他(野菜等)

(17)	JAさがみ遠藤支店直売部	遠藤6588	48-0070	じものさん	毎週火・金8:30～15:00
(18)	直売所 とみた	遠藤3602-27	090-3088-8450	野菜	毎日
(19)	ショウナン花園	遠藤6516	48-3350	胡蝶蘭	月～土13:00～17:00
(20)	櫻井農園	遠藤97	87-0554	さつま芋堀体験	10～11月(事前申込)

自然探勝コース

《南部・赤》1時間30分 《北部・青》2時間

① 市民センター
↓ 15分
[9] 御嶽大神
↓ 8分
[10] 宝泉寺
↓ 8分
[19] 大黒橋
↓ 20分
[7] 芭蕉天神
↓ 8分
つるべ坂
↓ 8分
[3] 大瀬戸稲荷
↓ 15分
[1] 吉神社
↓ 8分
① 市民センター

① 市民センター
↓ 20分
[21] 合祀社
↓ 20分
[11] 稲荷社(笹久保)
↓ 25分
宇都母神社
↓ 15分
富士浅間神社
↓ 20分
[14] 五霊大神
↓ 5分
[15] 妙見神社(諸之木)
↓ 15分
① 市民センター

三大祭り周遊コース

紫・1時間30分

① 市民センター
↓ 30分
竹炭祭りの森
↓ 17分
小出川彼岸花ロード
↓ 10分
小出川あじさいロード
↓ 10分
[10] 宝泉寺
↓ 8分
[9] 御嶽大神
↓ 15分
① 市民センター